

# 日本を飢えさせないために ～ウクライナ・マリウポリの教訓～

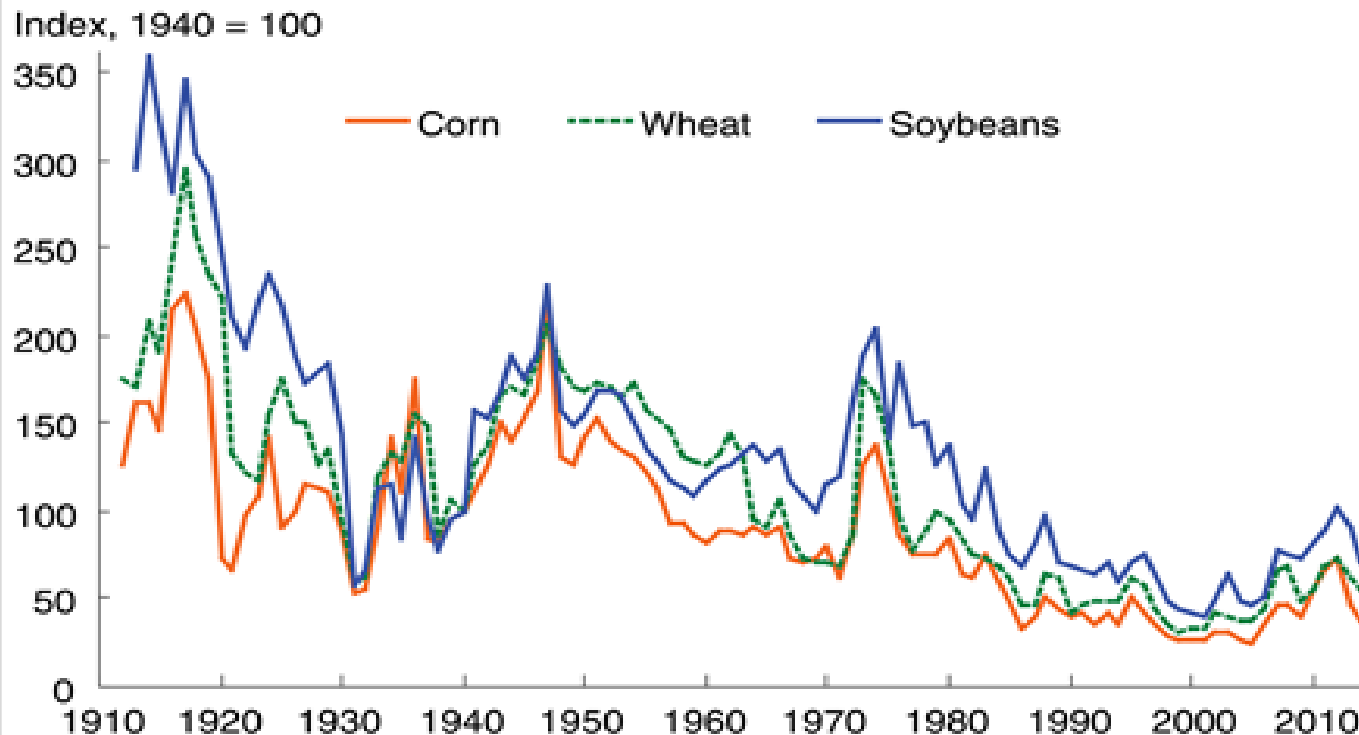
キャングローバル戦略研究所研究主幹  
経済産業研究所・上席研究員  
農学博士 山下 一仁

# 世界人口が増加して食料危機？



1900年17億人⇒1980年45億人⇒2015年73億人⇒ 2050年95億人

Inflation-adjusted corn, wheat, and soybean prices, 1912-2014

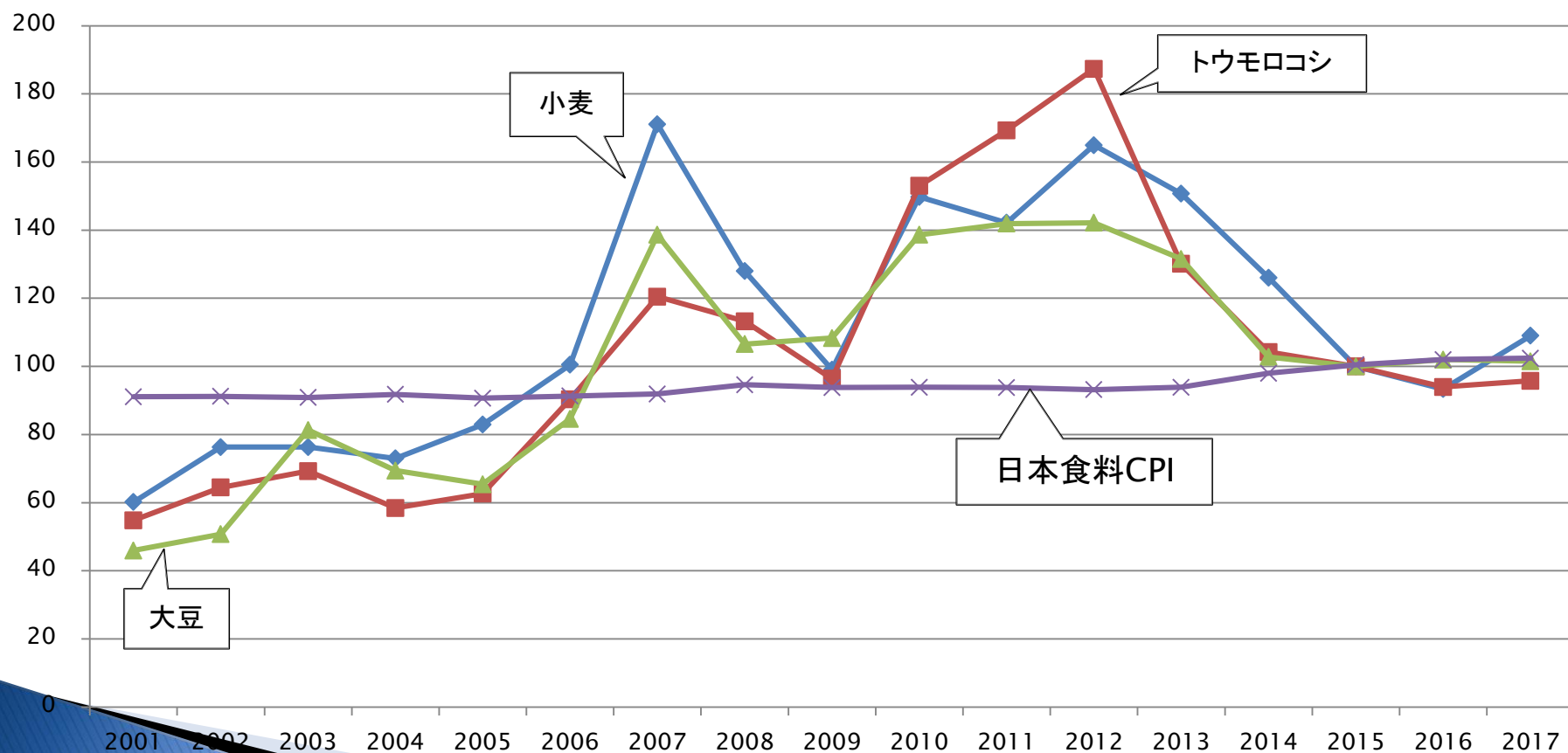


Source: USDA, Economic Research Service calculations using data from USDA, National Agricultural Statistics Service and U.S. Department of Labor, Bureau of Labor Statistics.

# 2008年世界食料危機と日本



## 穀物国際価格指数と国内CPIの推移



注: 穀物国際価格指数は2015/2016を、日本食料CPIは2015年をそれぞれ100とした数値

年度

# 食料安全保障と食料自給率



食料自給率は37%、自給率を上げるべきという主張

⇒食料自給率 = 国内生産 ÷ 国内消費、  
終戦直後の自給率は何%？  
台湾有事で輸入途絶の食料危機時は？  
輸出をしたらどうなる？

## 食料安全保障の二つの要素

1. 経済的なアクセス economic access=affordability
2. 物理的なアクセス physical access

日本にとっての問題は、金があっても買えない状態（東日本大震災）。  
日本周辺で軍事的紛争によるシーレーンの破壊等。台湾有事！



# 危機対応は①食料生産の維持と備蓄

- ▶ 今輸入途絶したら何が起きる？
- ▶ 輸入の小麦、牛肉、チーズも、輸入穀物の加工品の国産畜産物も食べられない。終戦後の状態。質（安全）より量（カロリー）
- ▶ 米だけの食生活。配給米（2号3勺）→125百万人で**1,400万トン必要**。
- ▶ しかし、減反で今年産は675万トン→**国民の3分の2は餓死**
- ▶ 戦前減反を潰したのは誰か？ 重要なのは兵站“logistics”
- ▶ 減反廃止で水田完全米作＋単収増加→**1500万トン（国内700万トン＋輸出800万トン）**  
～**平時の輸出は無償の食料備蓄**



# 危機対応は②農地資源維持による食料増産

## ▶ 次期の生産対応

終戦時人口72百万、農地面積600万ヘクタールで飢餓発生  
現在人口125百万、農地面積440万ヘクタール（=609万  
ha+160万ha-330万ha:農家の宅地転用と耕作放棄）

- ▶ 危機時には、石油などの輸入も途絶→農業機械は使用できない、化学肥料や農薬の生産・供給も困難。

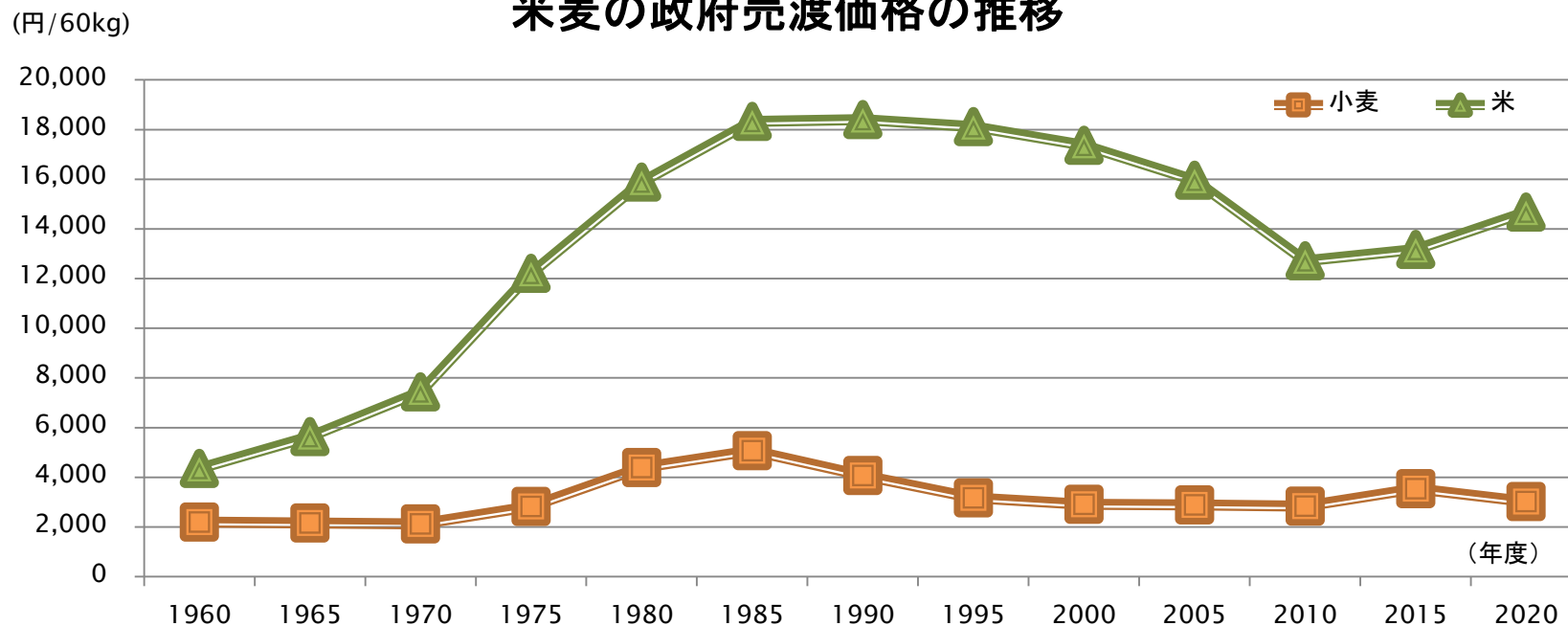
**単収は大幅に減少→より多くの農地資源が必要**

- ▶ 最低限 **1040万ヘクタール**必要。耕作放棄地の利用や荒廃した農地の再農地化に加え、ゴルフ場、公園や小学校の運動場などを農地に転換しなければならない。

# 米イジメ・外麦優遇農政⇒当然の自給率低下 日本人の主食はパンだ！日本はみずほの国？



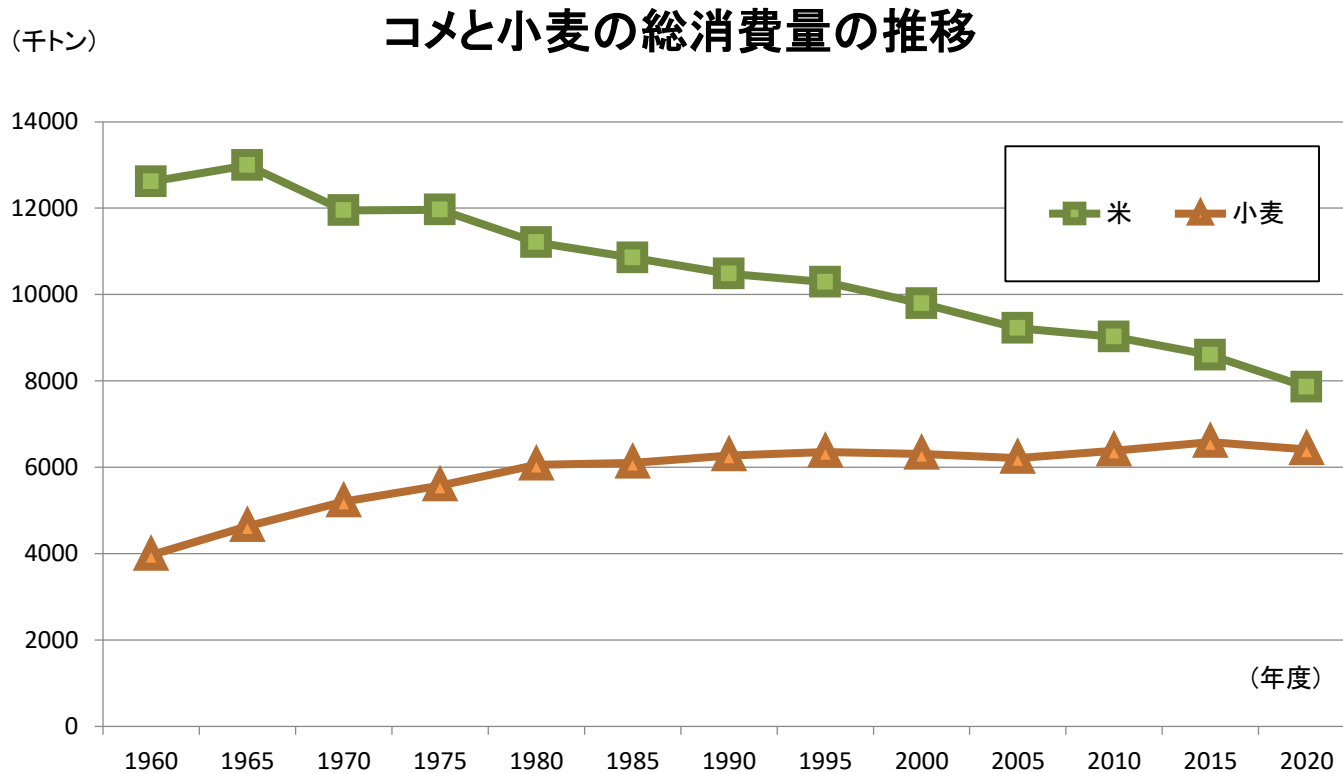
## 米麦の政府売渡価格の推移



出所:小麦については、農林水産省「麦の需給に関する見通し」、米については、2004年までは農林水産省「食糧統計年報」、2006年以降は相対価格であり、農林水産省「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」、により、筆者作成

注:2005年は2004年と2006年の平均

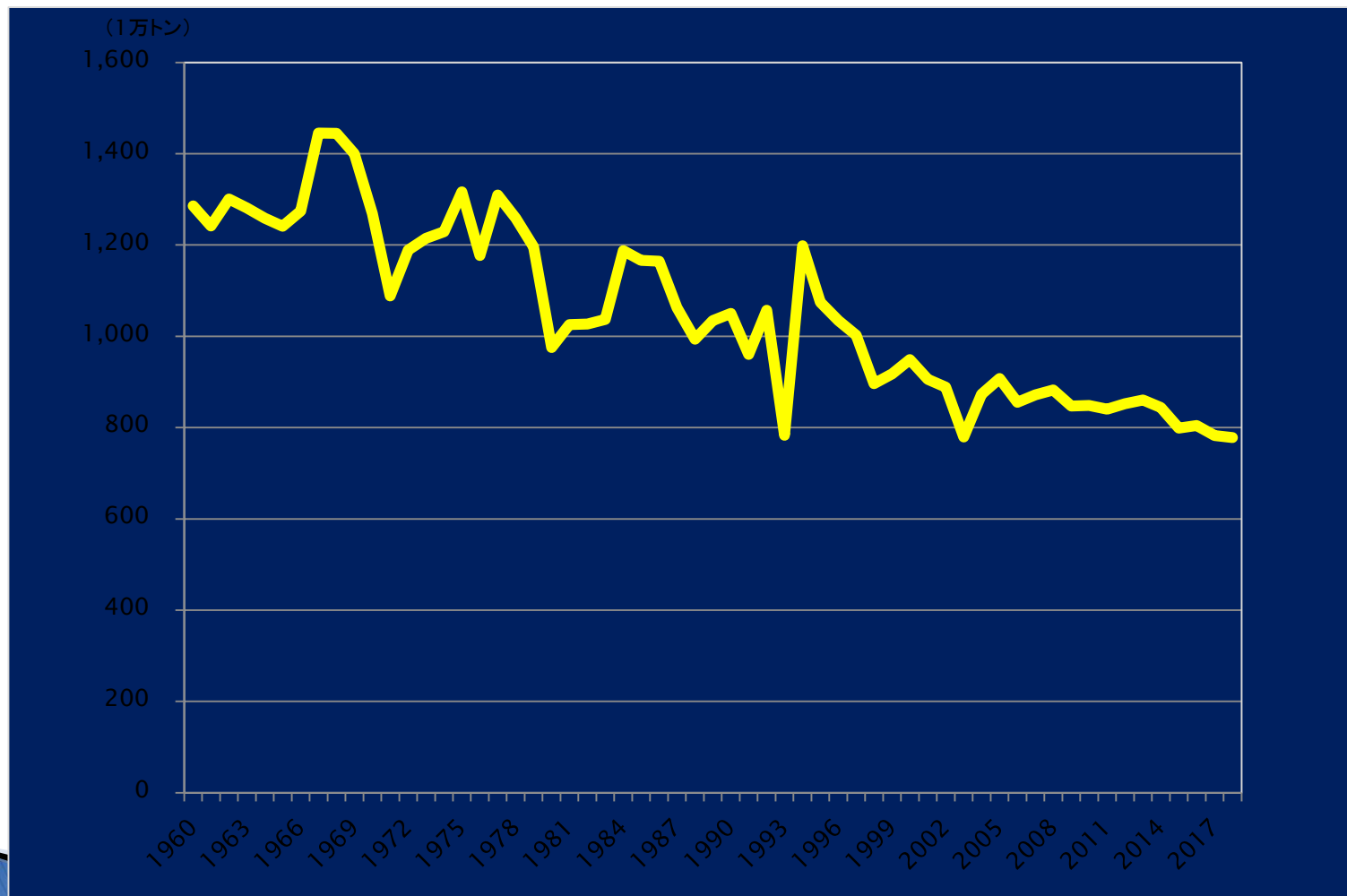
# 米をイジメた農政の結果 米と小麦の総消費量が接近



出所：農林水産省「食料需給表」により筆者作成

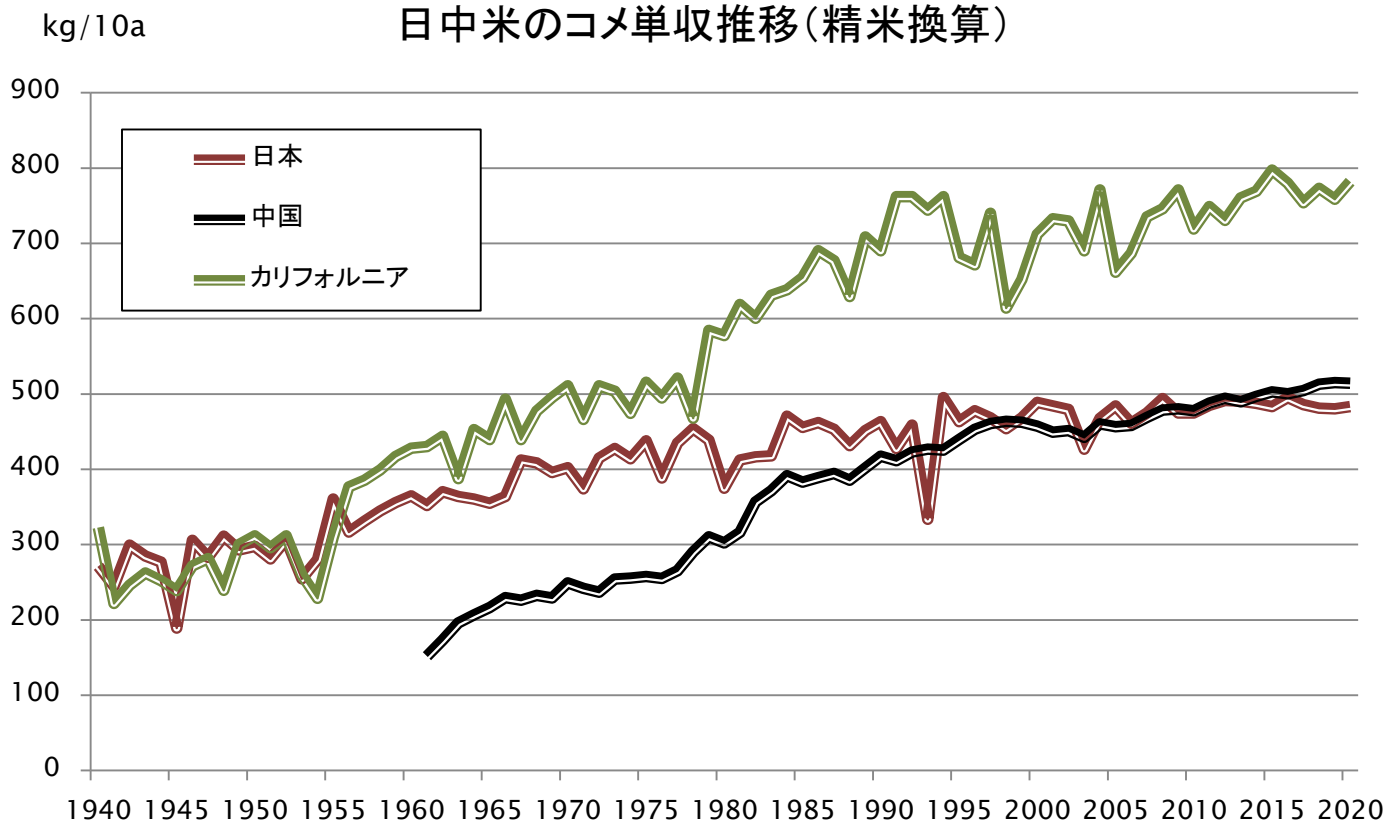


# 米生産は半分以下に減少



# 減反で単収（生産性）向上停滞

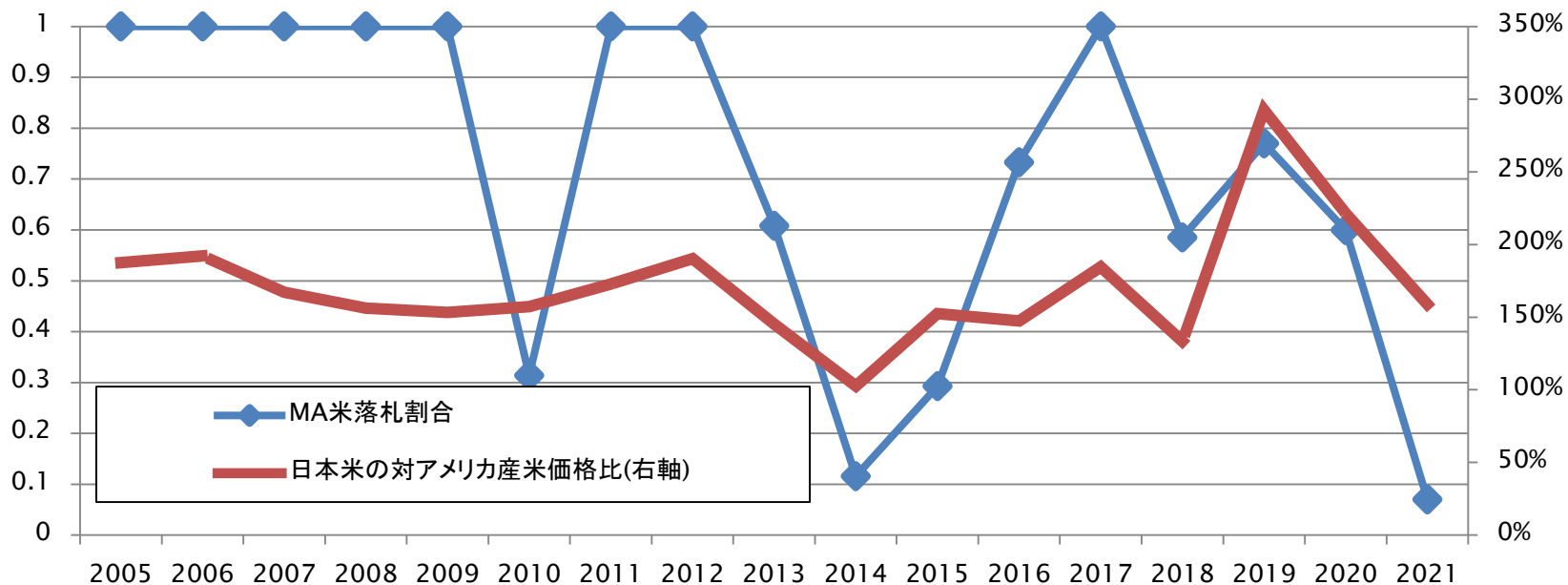
## 中国にも抜かれる



出所: FAOSTAT, USDA "Quick Stats", 農林水産省「作況調査」により筆者作成

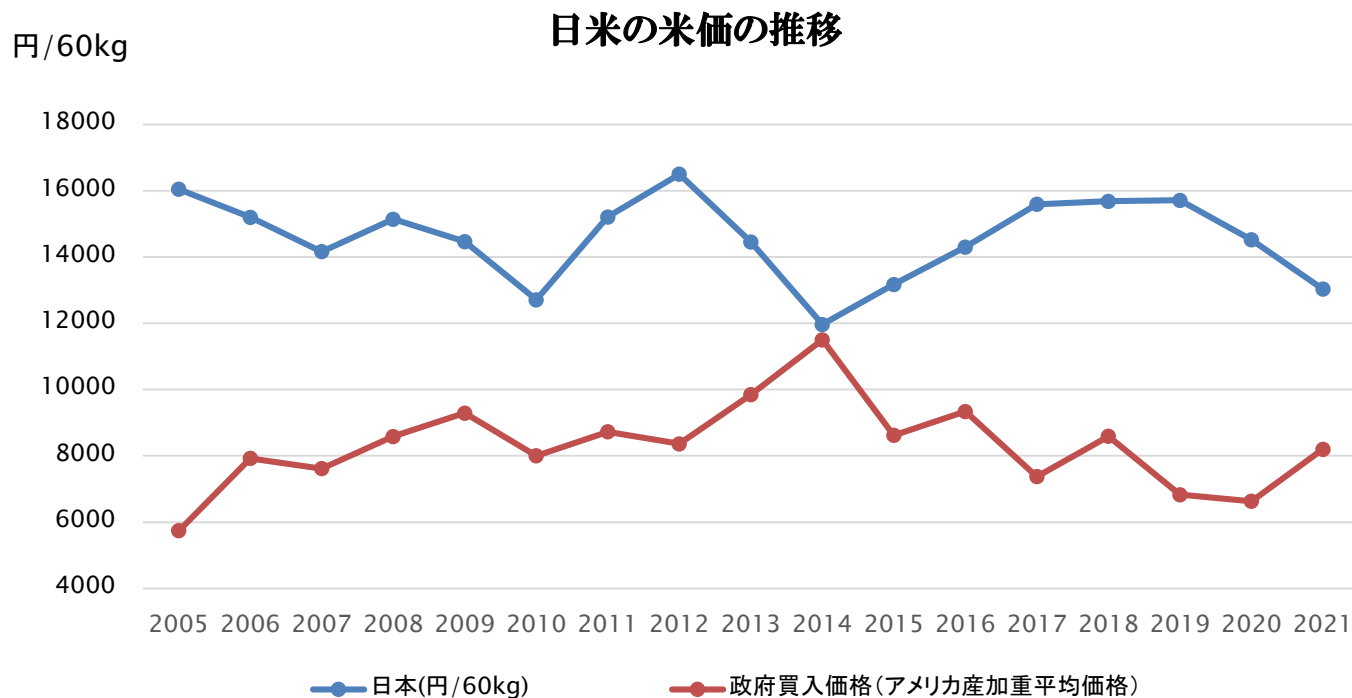
# 輸入されないアメリカ米

MA米落札割合と日米コメ価格比率の推移



出所: MA米らk巢圧割合については、農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」、米価格比については農林水産省「コメの相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」と農林水産省「輸入米に係るSBSの結果概要」により筆者作成

# 大きくない米の内外価格差



出所: 日本米については農林水産省「コメの相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」買入価格については、農林水産省「輸入米に係るSBSの結果概要」により筆者作成

# 米政策の改革案

